支援者としてのスタンス

① 運営支援の起点、基本

- ・支援活動は、被災者のニーズを起点に取り組む。
- ・個々の生活課題やコミュニティとの関係などにも目を配る。
- ・災害VC運営の理論が先に立たないよう留意する。

② 地元スタッフを支えつつ、総合力を発揮できるように

- ・被災による混乱や動揺、先行きへの不安を抱えた状態にある地元スタッフを共感的に支える。
- ・災害VCの活動・運営状況、スタッフ構成などから、現地に求められるスタンスや運営支援者である自分が担うべき役割を判断する。
- ・被災地の平時の姿や取り組みを踏まえ、被災していなければ発揮できるであろう、本来の力を発揮できるように支える。

③ 被災地内外の様々な人や組織のネットワーキング

- ・ボランティアの思いや力が効果的な支援につながるよう目を配る。
- ・地元の平時からのつながりや資源を生かすようにし、復興期以降につなげる。
- ・被災地外の資源を生かすつなぎ手となる。

④ 現状への対処と並行した中長期的な視点が重要

- ・緊急救援期を過ぎた後の姿を思い描き、先を見通した情報提供や助言を行う。
- ・被災後の地域や暮らしの継続のために、被災前からの地域課題の解決や、被災をきっかけとした地域づくりの視点も踏まえる。

⑤ 地元の力量や状況に合わせて

- ・他の運営支援者と相談しながら、地元(社協・NPO・住民等)の自主性・主体性を支え、地元の意向やペースに合わせて支援する。
- ・経験や理想を念頭に置きながらも、外部支援者が去った後の地元での継続性を考え、地元スタッフに受け入れやすい提案をする。

⑥ チームプレーを意識する

- ・現地の課題を自分の支援機関だけで解決しようとせず、災害VC内・他の支援者、後に続く運営支援者とのチームプレーによる総合力での取り組みを心がける。
- ・災害VCの一員として、スタッフやボランティアともコミュニケーションを心がけ、風通しのよい運営につなげる。
- ・災害VCの組織運営や、スタッフ間、スタッフとボランティア間のコミュニケーション不全など、総合的な課題にも配慮する。